

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 教科学習新システム活用推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 教科教育第一係 電話番号：058-272-1111(内8659)

E-mail：c17782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,229 千円 (前年度予算額：1,229 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,229	0	0	0	0	0	0	0	1,229
要求額	1,229	0	0	0	0	0	0	0	1,229
決定額	1,229	0	0	0	0	0	0	0	1,229

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- ・平成29年度から令和3年度まで5年間、教科学習Webシステムを構築・運営し、小学校算数の確かな学力の向上を目指してきた。
- ・令和4年度から令和8年度までの5年間は、教科学習Webシステムが保有するスタディ・ログを活用したシステムを運用。
- ・運用・活用面での課題を克服し、より有効な活用方法の在り方を開発・実践し、利用校に周知していく必要がある。
- ・県内の算数における課題を踏まえた独自の教材を作成し、Webシステムに組み込むことで、児童の実態に応じたシステムにしていくことができる。

(2) 事業内容

- ・推進校を6校指定し、有効な活用方法の開発・実践を進める。
- ・大学教授等の有識者や推進校の教員、教育委員会による「推進協議会」を設け、授業研究等から有効な活用方法等についての協議を行う。
- ・全児童及び全職員を対象にチラシを作成・配布する。
- ・市町村教育委員会の要請に対して、直接指導助言や研修会等を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	336	教育データ利活用推進協議会有識者（講師）
旅費	392	教育データ利活用推進協議会旅費等
印刷製本費	448	チラシ作成
使用料	53	教科書著作権許諾料
合計	1,229	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針3 未来を切り拓くための基礎となる力をはぐくむ教育の推進

目標1 1 これからの時代に求められる資質・能力の育成

目標1 2 ICTを活用した学習活動の充実

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和8年度までに、教科学習新システムで得られる学習履歴（スタディ・ログ）を活用し、児童生徒の学力向上及び教職員の指導力向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①算数の授業の内容はよく分かると回答した児童	82.8%		85.0%	90.0%	100.0%	
②算数の授業において補充的な学習の指導をよく行った学校	45.6%		50.0%	57.5%	80.0%	
③算数の授業において発展的な学習の指導をよく行った学校	13.2%		20.0%	27.5%	50.0%	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	全国的に教育データの標準化やスタディ・ログの活用等に係る取り組みを加速させることが求められている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	本システムの利用が年々増加している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 2	42市町村教育員会の各小学校で活用可能となり、各小学校での利用が広がっている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 本システムのコンテンツの充実及び活用方法の開発と周知。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 本システムのコンテンツのさらなる充実を図ることと、活用方法について有識者からのアドバイスをもらいながら開発し、教職員に発信をしていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	